

ANNAI、オープンソースソフトウェアのバージョンアップを自動化する 「オートアップデートサービス (AUS)」を発表

～Drupal や WordPress など数多くの企業が利用する CMS や各種ウェブアプリケーションフレームワーク、ミドルウェアにおけるセキュリティの維持と機能性の向上を図る～

2024年8月29日 – 本日、あらゆる規模の組織が導入可能なエンタープライズグレードのPaaS「amaze.io (アメージー・アイ・オー)」を提供する ANNAI 株式会社 (本社：東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO：紀野 恵) は、企業の効率的な IT 運用を強力にサポートする「オートアップデートサービス (AUS)」を発表します。AUS は、企業が直面するソフトウェアのアップデート作業の煩雑さを解消し、最新技術を活用した堅牢なシステム環境の維持を可能にします。



オートアップデートサービスのニーズと解決する課題

企業の IT 部門において、アプリケーションやミドルウェアのアップデートはセキュリティの維持に不可欠な作業です。しかし、手作業でのアップデートは時間とコストを要するため、必要と理解していながらも対応がなされていない状況や、膨大な数のウェブサイトを国内外で運用する大手企業においては、全てのウェブサイトが適切なバージョンで稼働しているかすら不明な状態が散在しており、セキュリティ面で高いリスクが生じています。

また、定期的なアップデートを実施している企業においても、複数のアプリケーションやミドルウェアの更新対応に追われることで、他の重要な業務に時間が割けないという問題も存在します。AUS はこのような課題を解決し、開発や運用担当者がソフトウェアのアップデート作業から解放され、セキュリティの強化と機能性の向上を今までよりも遥かに簡単かつ迅速に実現ができるサービスです。

AUS の機能と優位性

AUS は、amaze.io のコンテナ内に構築されたアプリケーションやミドルウェアのアップデート作業を自動化し、複雑なアップデートプロセスを大幅に簡素化します。具体的には、パッチ、マイナー、メジャーバージョンのアップデートがそれぞれ自動的に適用され、QA¹*環境での確認を経て、本番環境へはワンコマンドで適用されるという簡単かつ効果的な仕組みとなっています。このプロセスにより、従来のアップデート作業に要していた工数が大幅に削減され、システムの安全性を維持しつつ、運用コストを最小限に抑えることが可能になります。

セキュリティ、柔軟性、そして効率化

AUS の最大の強みは、企業の個別ニーズに応じた柔軟なアップデートが可能である点です。例えば、企業が使用するアプリケーションのバージョンに合わせて、特定のミドルウェアのバージョンに固定することができるほか、本番や QA 以外の指定環境でのアップデート実施も可能です。この柔軟な対応により、企業は自社の運用ポリシーに応じた最適なシステム管理が可能となります。

また、AUS は主要な CMS である WordPress や Drupal をサポートしており、それ以外のアプリケーションにも対応可能です。これにより、あらゆる企業が安心して最新の技術を導入し、堅牢なシステム運用を実現できます。

日本市場での展開と今後の展望

AUS は、これまで煩雑だったオープンソースソフトウェアのアップデート作業を自動化し、企業がセキュリティリスクを最小限に抑えつつ、それぞれのソフトウェアの機能追加や改善の恩恵を受け、かつ運用効率を最大化することを可能にします。特に、日本市場においては、信頼性の高いシステム運用が求められる中、AUS はその要件を満たす重要なソリューションとなります。ANNAI は今後 AUS に付随するテストの自動化においてもサービスを提供予定で、日本企業のデジタルトランスフォーメーションを支援し、最新技術を活用したシステム運用を促進していくことを目指します。

amaze.io について

amaze.io は、あらゆる規模の組織が導入可能なエンタープライズグレードの PaaS であり、Drupal、WordPress や Next.js など Web Experience (ウェブ体験)に最適化されたセキュアでパワフルなクラウドサービスです。フルマネージドの CDN、WAF や APM を合わせて提供し、運用コストを大幅に削減しつつデジタルのイノベーションを推進することができます。詳細は、[amaze.io](https://amazeio.jp/)をご覧ください。

ANNAI 株式会社について

ANNAI 株式会社は、世界標準かつ最先端のオープンソース・テクノロジーに根ざした DX ソリューションを提供する東京に本社を置く企業です。創業以来、エンタープライズ企業や政府行政機関、高等教育機関向けに多数の導入実績を誇り、顧客には、NTT コミュニケーションズ、シュナイダーエレクトリック、東京大学、京都市、デジタル庁が含まれます。高度なプロダクト開発とエンジニアリング、メソドロジーを中核に、顧客の事業を成

¹* QA：クオリティ・アシュアランス（品質保証）

< ANNAI >

功させるための「水先案内人」として顧客と共に伴走し、その実現に最適なソリューションを提供しています。詳細は、annai.co.jpをご覧ください。

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

PR 担当（株式会社ネットワークコミュニケーションズ）：武田

電話　：070-4012-4270

メール：annai@nwcom.jp